

神戸市立押部谷中学校 担当教科：理科

小畠 幸一

■実践教科：総合的な学習の時間

■指導時数：7時間

■対象学年：中学校2年生

■対象人数：137人

### ◆教師海外研修を通して感じたこと

- \* 参加者は、小・中・高・養護学校、公立・私立とバラエティーに富んだ教職員の集団で日頃接するとの少ない方々と話ができる良かっただ。
- \* リー・トウン・キット中学校で交流授業をさせて頂き良い経験となった。事前に打ち合わせもなく通訳をしてくださったトゥイさんに感謝する。また、交流を進めていく足がかりができたことが何よりも大きかった。
- \* モーハイ村の小さな子どもたちと一緒にクリップモーターで遊んだとき、言葉は通じなくても何か感じるものを感じた。
- \* 青年海外協力隊の方と会話をする機会を頂き、使命感に燃える、熱い想いに触れることができた。また、その想いを全うするのに色々な障害物があることもわかった。帰国後はぜひ、色々なところで講演をしていただきたいと思った。私も生徒に向けて海外でがんばっておられる方の話を折に触れてみたいと思った。

教師海外研修に参加して私は、ココが変わった！

**BEFORE**

- ◆ODAにあまり関心がなく、遠い世界のことだけと思っていた。

**AFTER**

- ◆日本と海外の国々について、もっと勉強しなければならないことがたくさんあることに気づいた。
- ◆教育の分野でも国際協力に貢献できる可能性があることがわかった。

## 授業の詳細

### 1. カリキュラム

#### (1) 実践的目的/背景

本校は神戸市の北西の端に位置する。学校周辺には田畠が多数見られ、農業を営む地域と新興の住宅地が混在する校区である。各学年4クラスずつの中規模校で生徒数は約400人である。外国籍及び外国にルーツをもつ家庭はほとんどない。

総合的な学習の時間では、国際理解教育は下記のように位置づけられている。

○中学校学習指導要領(文部科学省 平成20年9月)

・第5章-第3 総合的な学習の時間-1-(5)

学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、児童の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動を行うこと。

○指導の重点(兵庫県教育委員会 平成21年度)

・I 学校教育-14 異文化理解と相互尊重の態度をはぐくむ国際理解教育の充実

自国の伝統や文化を尊重するとともに、他の国や地域についての理解を深め、人権尊重の精神を基盤として、異なる伝統や文化に敬意をはらう態度を育成する。

また、国際的な視野に立って自らの考え方や意見を述べ、主体的に行動する態度や能力を育成し、国際社会の一員としての自覚をはぐくむ。

・実践目標1 国際性豊かな共生の心をはぐくむ

③ …(略)…国内の外国人学校や海外の学校と交流する機会を設け…(略)…、積極的に国際交流に取り組む

○指導の重点(神戸市教育委員会 平成21年度)

・II 国際理解教育-1.国際理解教育の目的

広い視野をもち、外国の人々や異文化を理解し尊重する態度や、異なる文化を持った人々ともに生きていく資質や能力の育成を図る。

自国の文化や伝統に対する理解と関心を深め、自己の確立を図る。

本校の総合的な学習の時間は、1年生「自己理解」、2年生「自己啓発」、3年生「自己実現」をテーマとして、3年間を見通して計画している。

1年生では、入学当初の「仲間づくり」に始まり、「自分の長所」「自分の短所」「幼いころの自分」「自分新聞」等、自己を見つめることを目的とする活動を進めた。その活動の一つとして、JICAの「国際協力出前講座」で異文化体験の話を聞くことで、それに触発され、自己を見つめなおす機会を作りたいと考えた。さらに、国際協力について考えることで、自分を振り返る機会をつくるために、国際協力エッセイコンテストに応募した。

2年生では「職業学習」「トライ・やるウイーク」等、自己を啓発することを目的とする活動を進めた。その活動の一つとして、外国(ベトナム)の学校と交流を進めたいと考えた。

## (2)授業の構成

### 【中学1年生対象】

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1時限目【1年】 「中学生の考える国際協力」	1. JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト優秀作品を読み合わせする。	08JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト優秀作品集
2~3時限目【1年】 「世界のことを知ろう」	1. JICA国際協力出前講座を受講 2. ワークシートを記入する。 3. 自分なりの国際協力を考え、エッセイの執筆をする。	・ワークシート

### 【中学2年生対象】

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1時限目【2年】 「押部谷のことを知ってもらおう」	1. 外国の人に対する自己紹介の方法を考える。 2. 班で話し合い実行可能なものを発表する。	・ワークシート
2時限目【2年】 「絵手紙をつくろう」	1. 絵手紙の内容の条件を話し合う。 2. 持参した色鉛筆やクレヨンで絵手紙を制作する。(続きは宿題)	・色鉛筆 ・クレヨン ・画用紙
3時限目【2年】 「絵手紙の返事」	1. リ・トゥン・キット中学校を紹介する。 2. ベトナムで書いてもらった絵手紙を掲示する。	
4時限目【2年】 「エルトゥールル号の遭難」	1. インターネット上のサイトから引用した文章を読み、日本とトルコの関係について考える。 2. 感想を書く。	海にまつわるちょっと良い話「エトゥールル号の遭難」

## 2. 授業の詳細

**2~3 時限目** 【1年】「世界のことを知ろう」

### ■目標

海外での体験談(青年海外協力隊による出前講座)を聞き世界のことを知る。

国際理解の活動を通して、自分や身のまわりの環境について考える。

### ■内容

事前に受講希望を取り、受講講座を2つ決定する。

①出前講座を2講座受講する。

②話を聞き、ワークシートに記入する。

**参考資料 ワークシート①**

#### 生徒のコメント

(1) 外国で働く人はどんな目的で行くのでしょうか。

その国の人を助ける。外国の技術を高める。

日本の文化を伝える。

その国の人と生活し役に立ちたい。

(2) 外国に滞在し、働いたことでどんなことを考えるようになりましたか。

水・命・資源を大切に。

みんなに助けられて生きている。

物の値段が違う。

外国には学校に行けない人がいる。

貧しいが明るい国がある。

(3) 外国で暮らす日本人から見た日本はどんな様子でしょう。

日本はすごく便利だった。

大切に物を扱っていない。豊かな国のありがたさをわかっていない。

とてもまじめ。

安全

(4) あなたが考える国際協力とはどういうことでしょう。

世界の人々が支えあい協力し合うこと。

色々なことを知らない子どもたちに楽しいことを教える。

それぞれの国の状況や文化、環境、言葉を学び理解し興味を持つこと。

お金じゃない。心から思うこと。

どんなに小さなことでも国際協力につながる。

日本だけが良ければという事でない。他の国へ色々伝えなければいけない。

③国際協力エッセイコンテストの応募作文を執筆する。(夏休みの宿題)

**1 時限目** 【2年】「押部谷のことを知ってもらおう」

### ■目標

ベトナムの中学校と交流の糸口をつかむために、自己紹介の方法を考える。

## ■内容

①外国人に押部谷(自分)を紹介する方法を考える。

ワークシートに記入する。

参考資料 ワークシート②

条件:対象は離れたところにいる。言葉は通じないと考える。

### 生徒のコメント

#### 内容

自分	学校	地域
似顔絵	押部谷中の良いところ	地域の歴史
写真	授業の様子	自然がいっぱい
どんなものを食べているか	遊ぶ姿	農業の人にインタビュー
	部活動	地図
	行事	

#### 方法

- 絵で紹介する
- 簡単な英語で
- 折り紙
- ビデオレター
- ミニスライドショー
- 日本の映画やアニメを見てもらう
- 録音テープ
- 日本の水を持っていって飲んでおいしさを味わってもらう

②実現可能な方法を考える。

班で話し合い考えを発表する。

条件:全員が比較的容易に実行できる方法を考える。

### 結果

生徒の考えの中から、全員が実行可能なものとして、「絵手紙の制作」という方法を導き出した。

## 2時限目 【2年】「絵手紙をつくろう」

### ■目標

ベトナムの中学校と交流の糸口をつかむために、自己紹介の作品をつくる。

### ■内容

- ①日本・地域・身のまわり・自分等をイメージして、自己紹介の絵を創造する。
- ②掲示したとき少し離れた所からでもわかるようはつきりと描く。



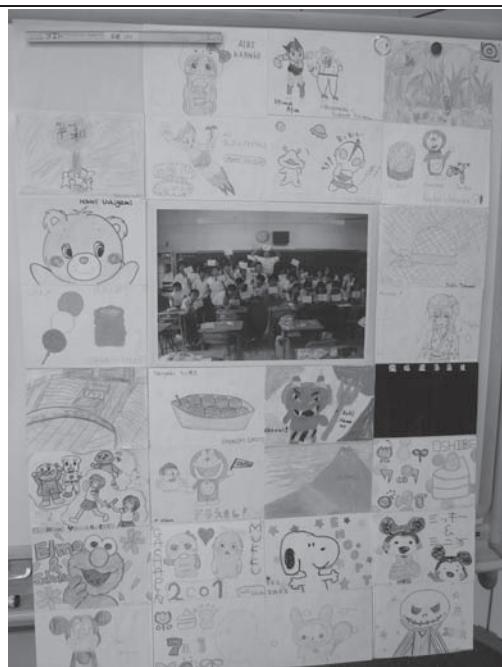
絵手紙（押部谷中）①



絵手紙（押部谷中）②



絵手紙（押部谷中）③



絵手紙（押部谷中）④

## 番外 「絵手紙の披露：ベトナム」

### ■目標

ベトナムの中学校に絵手紙を披露し、返事の絵手紙を描いてもらう。

### ■内容

- ①通訳の方にお願いして、話を訳していただきながら、学校の紹介をする。
- ②生徒が描いた絵手紙を披露する。

③持参した画用紙と色鉛筆を配り、1人1枚ずつベトナムを紹介する絵手紙を描いてもらう。

	
押部谷中の紹介	絵手紙の披露
	
絵手紙（リ・トゥン・キット中学校）①	絵手紙（リ・トゥン・キット中学校）②

### 3. 成果と課題

最初、中学2年生が絵手紙をどのように描くのか少し不安があつたが、予想に反して、目的意識を持ち前向きに取り組んだ。返事の手紙を掲示したら生徒たちはうれしげに眺めていた。しかし、交流ということでいうと、まだまだ入り口にいるだけである。勉強しなければならないことはたくさんある。訪問させていただいたリ・トゥン・キット中学校の先生と連絡を取り、その先を進めていきたいと考えている。

私が生徒たちに望むのは、ベトナムなど外国の人々と交流を通して、外へ目を向けることである。外へ目を向けることで、外から身のまわりを見つめ直すことができる場合がある。早急にそれを求めるわけではなく、その下地をつくる取り組みになれば幸いである。

総合的な学習の時間で取り組みを進めているが、他にもすべきことが多数ある中で、時間数をいかに確保するかが今後の課題である。

## 参考資料

【webページ URL】 海にまつわるちょっと良い話「エトルールル号の遭難」  
[http://www.loco-point.net/love\\_peace/ertugrul.html](http://www.loco-point.net/love_peace/ertugrul.html)

### ワークシート①

「世界のことを知ろう」ワークシート（生徒用）				
日 時： 平成20年7月2日（水） 5、6P				
目的：				
① 海外での体験談等を聞き世界のことを知る。（国際理解）				
② 国際理解の活動を通して、自分や身のまわりの環境について考える。（自己理解）				
クラス：				
講師	派遣国	職種	教室	
A	ニジェール【アフリカ】	体育	第2理科	
B	ニカラグア【中米】	コンピューター技術	1-2	
C	ボツワナ【アフリカ】	PCインストラクター	1-3	
D	マラウイ【アフリカ】	手工芸	1-4	
E	モンゴル【アジア】	室内装飾	1-1	

質問：以下の質問の答えはひとつではありません。今日の講演を聴き、あなたの考えを書きなさい。

① 外国で働く人はどんな目的で行くのでしょうか。  
[Large empty box for writing]

② 外国に滞在し、働いたことでどんなことを考えるようになりましたか。  
[Large empty box for writing]

③ 外国で暮らす日本人から見た日本はどんな様子でしょう。  
[Large empty box for writing]

### ワークシート②

押部谷のことを知ってもらおう h21. 6	
2年( )組 ( )番 名前( )	
外国人の人に押部谷（自分）を紹介するしたらどんなことをどんなふうに紹介したらいいでしょうか？考えて見ましょう。	
どんなこと？	
人のこと	
自分	
学校	
地域のこと	
方法？	